

令和5年度 公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会事業計画

I 事業運営方針

コロナ禍による厳しい状況が徐々に緩和され、社会経済活動の正常化が進みつつあり、インバウンド需要の回復も見込まれるなか、鹿児島では本年、多くの方々に鹿児島の魅力を堪能していただく絶好の機会ともなる「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」、「全国高等学校総合文化祭」が開催され、観光において明るい兆しが見えてきている状況です。

このような中、令和5年度、当協会の事業運営におきましては、稼ぐ観光の実現に向け、観光地域づくりを担う「登録DMO」を目指し、民間の方々が主体的に参画する実施体制の構築や関連施策の充実を図るとともに、観光CRMアプリを活用した地域マーケティングに取り組んでまいります。

また、インバウンド誘客に向けた海外プロモーションの推進や、WEBを中心とした各種メディアを活用した鹿児島の魅力や観光情報の発信など、より効果的な観光客の誘致に取り組むとともに、国内外からの観光客や大会等の参加者に対する受入体制やおもてなしの充実を図るなど、受入強化のための取組を行ってまいります。

さらに、MICE誘致戦略プランに基づき、国内外での誘致活動を積極的に展開するなど、鹿児島でのMICE開催の促進に取り組んでまいります。

【公益目的事業】

DMOを着実に推進するため、令和5年度は「登録DMO」を目指して、DMO経営企画会議やワーキンググループを設置し、実施体制を強化するとともに関連施策を充実し、民間事業者の「稼ぐ力」の強化を図ってまいります。

「観光客誘致事業」では、新たにインバウンド誘客に向けたFIT（個人旅行者）向けのプロモーションを行うほか、SNSや雑誌など各種メディアを活用したプロモーション、市・県・観光関係団体などと連携したプロモーションを実施し、鹿児島の魅力や観光情報を国内外に向けて発信してまいります。

「観光客受入事業」では、観光CRMアプリを活用した地域マーケティングの推進や訪日外国人の受入体制の強化などの取組を実施します。

また、観光ボランティアガイドを活用したぶらりまち歩きを実施するとともに、接遇・語学研修会などを通じて観光関係者のホスピタリティを高め、受入体制の充実を図ってまいります。

「コンベンション誘致支援事業」では、MICE誘致戦略プランに基づく取組を推進するとともに、「国際MICEエキスポ（IME）」をはじめとするMICE商談会への出展や「7都市情報交換会」での情報交換、大都市圏や地元事務局への誘致セールス、また新たに台湾における現地での誘致セールスを展開し、あわせてMICE開催における支援・サポートを行うなど、鹿児島でのMICE開催を促進してまいります。

「受託事業」では、「維新ふるさと館」において、歴史シンポジウムを開催するとともに、創作歴史芝居等のイベントや各種歴史講座等を開催するなど、観光客等の利用促進を図ってまいります。

また、鹿児島中央駅や天文館、桜島など市内要所5ヶ所にある観光案内所を運営し、観光客等の利便性向上を図ってまいります。

【法人会計】

「その他事業」では、引き続き、理事会、評議員会、専門委員会等の開催や、関係団体との連携により円滑な事業運営を図ってまいります。

II 事業計画の概要

【公益目的事業】

〈自主事業〉

●DMOの運営【拡充】

マーケティングに係る横断的なミッションを官民連携で推進するためワーキンググループを設置し、企画・施策を立案するとともに、DMO経営企画会議において、ワーキンググループでの企画・施策案や運営全般について協議検討を行い、事業計画に反映する。

- ・DMO経営企画会議、ワーキンググループの設置・開催

1 観光客誘致事業

(1) 国内観光客誘致事業

- ①ツーリズムEXPOジャパン（大阪）への出展
- ②都市間まつり交流（大垣市）
- ③鹿児島デーへの出展（松本、清水、磐田）
- ④かごしま親善大使の運営

(2) 海外観光客誘致事業

①海外プロモーション推進事業【新規】

インバウンド誘客に向けて、FIT（個人旅行者）向けのプロモーションを実施する。

- ・FIT集客を見据えたテーマ型観光プロモーション

(3) 印刷物等活用事業

- ①協会オリジナルグッズ作成及び販売

(4) 情報発信事業

①メディアプロモーション事業【新規】

鹿児島市の魅力について、WEBを中心に各種メディアを活用したプロモーションを実施する。

- ・三大都市圏を中心にSNSや雑誌等を活用したプロモーション
 - ・OTA（オンライン旅行代理店）を活用したプロモーション
- ②鹿児島市観光サイトを活用した情報発信
 - ③海外ブロガー等招聘事業（県観光連盟との連携）
 - ④機関紙（サザンウインド）の発行

2 観光客受入事業

(1) 国内観光客受入事業

- ①観光ボランティアガイドの活用
 - ・ぶらりまち歩きにおける観光ガイド
 - ・観光スポットにおける定点ガイドの配置
- ②観光地視察研修の実施
- ③接客研修会の開催
- ④「鹿児島県の観光とコンベンション推進の集い」の開催
- ⑤学生を活用したイベント事業
 - ・甲突川沿いイベント等での学生による「お茶のおもてなし（百円茶屋）」
- ⑥電光掲示板の活用（鹿児島中央駅東口タクシー乗り場前）
- ⑦キッチンカー活用事業【新規】
 - ・イベント等に出展するキッチンカーへの支援

(2) 海外観光客受入事業

①インバウンド向けコンテンツ魅力・販売力強化事業【新規】

インバウンド誘客に向けた体験型観光メニューの魅力向上や販売力強化等の取組を行う。

- ・コンテンツの魅力向上、基本的な受入スキルの底上げ
 - ・体験メニューのオンライン販売における多言語対応支援、海外向けOTA（オンライン旅行代理店）への掲載支援
- ②訪日外国人受入体制の強化
 - ・外国人対応の基礎知識・語学力向上のための講座開催
 - ③観光客船の受入れ

(3) 観光イベント促進事業

- ①かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会の支援
- ②おはら祭の支援

(4) パンフレット等作成事業

- ①よかところかごんまMAPのリニューアル
- ②外国語版観光ガイドマップの作成

(5) 調査・連携事業

- ①マーケティング機能の強化
 - ・鹿児島市観光動向調査・分析業務
- ②九州各市観光推進団体等との連携
- ③県内10市観光協会との連携事業

(6) 観光CRMアプリ推進事業

地域全体で稼ぐ観光を推進するため、観光CRMアプリを活用した地域マーケティングの強化に取り組む。

- ①観光CRMアプリの運用
- ②新規会員及びリピーター等獲得キャンペーンの実施
- ③加盟店のスタートアップサポート（月額システム等利用料補助）
- ④CRMアプリダウンロード促進プロモーション

3 コンベンション誘致支援事業

(1) コンベンション誘致事業

①誘致セールス事業

- ・営業に係るキーマン、MICE有識者等の招聘
- ・大都市圏等大会事務局（東京・大阪・名古屋）、地元大会事務局への誘致セールス

②国際MICEエキスポ（IME）への出展

③7都市情報交換会での情報交換及びコンベンション主催者との7都市情報懇談会への参加

④コンベンション推進団体との連携

- ・九州地区コンベンション推進団体連絡協議会の総会等及び合同プロモーションへの参加

(2) コンベンション開催支援事業

①MICE開催に対する補助金・助成金の交付

②コンベンション開催準備資金の貸付

③観光案内コーナーの設置

④観光パンフレットの配布

⑤コンベンション開催各種相談

(3) コンベンションカレンダー等作成事業

①コンベンションカレンダーの作成

②月刊イベント・コンベンション情報の作成（賛助会員へメール配信）

(4) MICE誘致戦略プランの推進

①国内誘致活動の強化（東京・大阪・名古屋・広島）

- ・対象：MICE主催者、PCO（コンベンション運営会社）等

②海外誘致活動の実施（台湾）【新規】

- ・対象：現地旅行会社及びPCO（コンベンション運営会社）

③国内MICE商談会への出展【新規】

- ・ツーリズムEXPOジャパン（大阪）、MICE EXPO2023（大阪）

④国際MICE商談会への出展（JNTO主催・オンライン開催）

- ・対象国：韓国、ベトナム、タイ、シンガポール

⑤テーマ別座談会の開催

⑥MICE誘致戦略プランの改訂（スケジュール・取組内容等）【新規】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、MICE開催状況が大きく変化していることを鑑み、MICE誘致戦略プランを改訂する。

⑦MICE誘致PR冊子の作成

⑧主催者へのヒアリングや参加者へのアンケート調査の実施

⑨情報のデータベース化

〈受託事業〉

4 維新ふるさと館管理運営事業（鹿児島市から指定管理者として受託）

(1) 維新ふるさと館の管理

(2) 利用促進イベント・各種歴史講座等の開催

- ・ 創作歴史芝居（維新演劇シアター）
- ・ 折り紙あそび体験
- ・ 歴史シンポジウム
- ・ 西郷隆盛をしのぶ書道展
- ・ 歴史解説員による史跡めぐり

5 観光案内所運営事業（鹿児島市から受託）

市内5ヶ所の観光案内所において観光案内及び観光情報の提供、乗車券等の販売を行い、観光客等の利便性向上を図る。

- ・ 鹿児島中央駅総合観光案内所
- ・ 鹿児島中央駅東口駅前広場観光案内所
- ・ 観光交流センター
- ・ 鹿児島市観光案内所（天文館）
- ・ 桜島観光案内所

【法人会計】

6 その他事業

理事会、評議員会、専門委員会等を開催し、事業展開に反映させるとともに、関係団体と連携を図り、円滑な事業運営を行う。

(1) 理事会、評議員会、監事会の開催

(2) 専門委員会の開催

(3) 関係団体との連携